



災害と社会変動

—安全・安心に生きるために—

2013年11月9日(土) 13:00~17:00

東北大学川内南キャンパス 文学部第2講義室

災害がいかなる社会変動をもたらすのか、望ましくない社会変動をもたらすならばそれを軽減する方策はあるのか、という問題を歴史学、社会学、経済学、公共政策学等の視点から検討します。

講演者

鬼頭 宏 (上智大学経済学部教授、歴史人口学)

人口減退期の災害リスク —歴史人口学の視点から—

松井 克浩 (新潟大学人文学部教授、社会学)

「故郷」の喪失と再生

中室 牧子 (慶應義塾大学総合政策学部准教授、経済学)

自然災害が教育や健康に与える影響

永松 伸吾 (関西大学社会安全学部准教授、公共政策学)

ポスト311の減災政策に向けて

コメンテーター

今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所教授、津波工学)

企画・司会

佐藤 嘉倫 (東北大学大学院文学研究科教授)

松崎 瑠美 (東北大学大学院文学研究科助教)

◆主催

東北大学グローバル安全学トップリーダー育成プログラム



入場無料・事前登録不要

シンポジウム終了後、懇親会を開催いたします。
(18:00~20:00 飲料代のみ申し受けます)
懇親会に参加ご希望の方は、11月1日までに
下記問い合わせ先にお申し込みください。

◆問い合わせ先

松崎 瑠美

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院文学研究科リーディング助教室

TEL・FAX: 022-795-6011 E-mail: rumim@sal.tohoku.ac.jp